

とお か まち し とり く

十日町市の取組み

かみ ねんりょう か
(紙おむつ燃料化)



つか お かみ ねんりょう
使い終わった紙おむつを燃料にするってどういうことなの？



よく聞いてくれたの～！わしから説明しよう。

いま にほん こうれいか すす
今の日本は高齢化が進んでいるんじゃ。そして、ごみとして出される紙おむつの量も多くなっていて、処分に多くの費用がかかっているんじゃ。

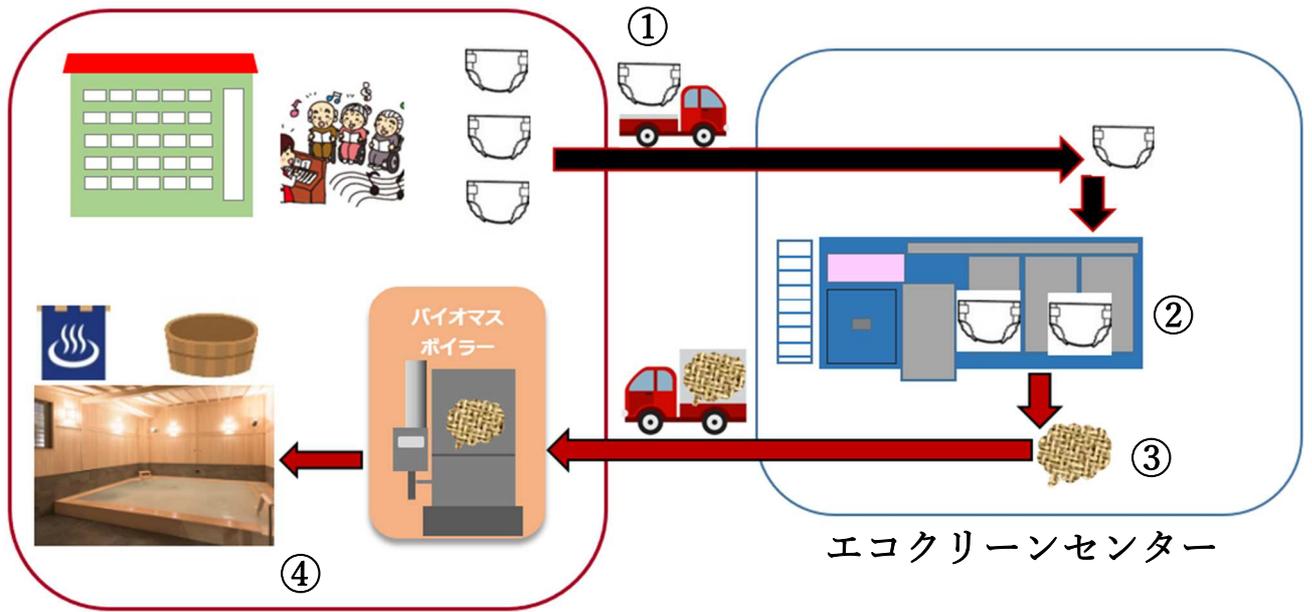
「紙おむつの燃料化」とは、これまで「厄介者」だった紙おむつを新たなエネルギーとして利用して、「資源の循環」と「エネルギーの地産地消」を実現する取り組みなんじゃよ。



げんざい す とおかまちし しょうず かみ ねんりょうかじつしょうじぎょう
現在、わしが住んでいる十日町市では、「使用済み紙おむつの燃料化実証事業」に取り組んでいるんじゃ。取り組みの流れを説明するよ。

- ① 福祉施設から毎日、使用済みの紙おむつをエコクリーンセンター(ごみ焼却場)に運ぶんじゃ。
- ② 運んできたおむつを、SFDという機械に入れ乾燥・滅菌をして破碎もするんじゃ。
(機械で使う熱は、エコクリーンセンターでゴミを燃やすことで出る熱を利用するよ)
- ③ 破碎して綿状にしたおむつと、間伐材をチップ状にしたものを混ぜて造粒機という機械でペレットにするんじゃ。
- ④ ペレットを福祉施設に運び、お湯を沸かすボイラーの燃料として、施設で使用するんじゃよ。

イメージ図



福祉施設

写真



②SFD



④バイオマスボイラー



③造粒機



完成したペレット



十日町市 HP



げんざい しょうず かみ さいしげんか さいりょう たいへん ちゅうもく
現在、使用済みの紙おむつの再資源化や再利用は大変に注目されていて、

とおかまちし とく さんこう まいとし にん ひと けんかく しさつ
十日町市の取り組みを参考にしようと、毎年100人近くの人が見学(視察)にくるんだって！



すっげーや！

ただ捨^すてて燃^もやすだけじゃなくて、ペレットに変えて燃^{ねんりょう}料として再^{さいりょう}利用するんだね。



そうなんじゃ。

ペレットを燃^{ねんりょう}料とすることで、従^{じゅうらい}来から使用^{しよう}している化石^{かせき}

燃^{ねんりょう}料の削^{さくげん}減につながるのじゃよ。ここで一句。

「おむ^もつ燃^{よねつ}え 余^{めぐ}熱の恵^ゆみ 湯あたたか」

脱^{だつたんそ}炭素じゃよ。わっはっはー。

次^じ回の^{かい}テーマは……… 何^{なん}だっけ??

そうだ、お楽^{たの}しみじゃ(笑^{わらい})!



化石^{かせき}燃^{ねんりょう}料・・動物^{どうぶつ}や植物^{しょくぶつ}の死^しがい^{なんびやくまんねん}が何^{つち}百万^{なか}年も土^おの中で押し^おつぶされて

化石^{かせき}化したもので、代^{だいひょうてき}表的なものには、石^{せき}炭^{たん}、石^{せき}油^ゆ、天^{てん}然^{ねん}ガスがある。これら

は、車^{くるま}や発^{はつでんしょ}電^{しょ}所でエネ^{つく}ルギーを作るためなどに燃^もやされて使^{つか}われているんだ。

ただ、化石^{かせき}燃^{ねんりょう}料を使^{つか}うと土^{つち}の中^{なか}で安^{あん}定^{てい}化^{いか}していた二^に酸^{さん}化^か炭^{たん}素^そというガ^{たい}スが大^{たい}気^き中^{ちゆう}

に出^でて、これ^{ちきゅうおんだんか}が地^ち球^{きゅう}温^{おん}暖^{だん}化^かの原^{げん}因^{いん}になるんだよ。



次^{つぎ}は私^{わたし}が登^{とう}場^{じょう}するよ!